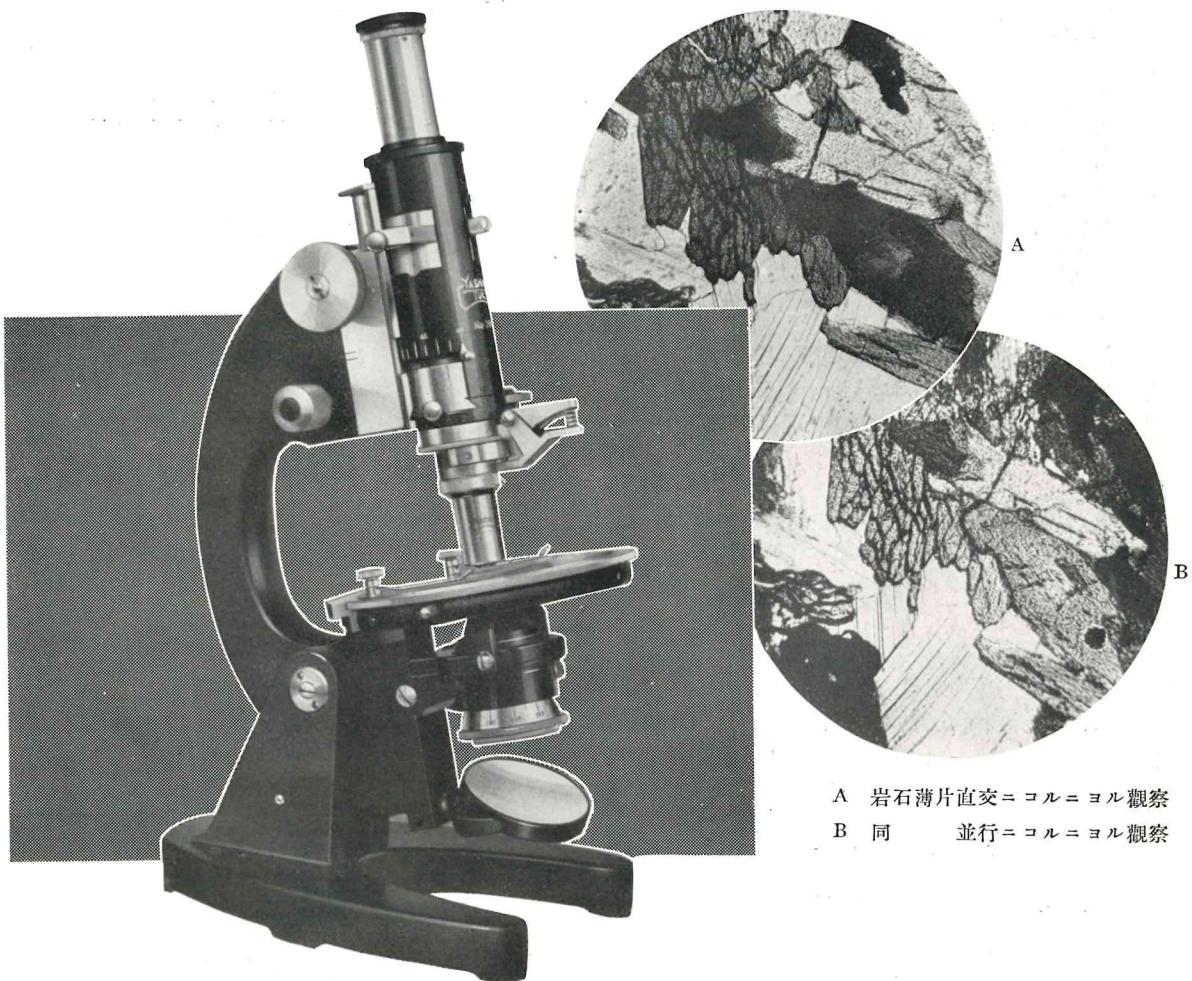


# yashima

YASHIMA  
TOKYO

## POLARISATION MICROSCOPE

YPC



A 岩石薄片直交ニコルニヨル觀察  
B 同 並行ニコルニヨル觀察

YPCは結晶の光學的觀察、測定に必要なる諸條件を完備して居りますから、地質學、鑽物學、岩石學は勿論化學、藥學方面等研究用として利用範圍は極めて廣大であります。

從來國產品として完全なる偏光顯微鏡が製作されて居りませぬ爲、徒らに高價なる外國品を使用せざるを得なかつたものであります。弊社が斯學専門家諸彦の御懇誠なる御指導に基き多大の研究費と努力を傾倒したる結果純國產として此の偏光顯微鏡を完成し、各方面に於て多數の御愛用を蒙りつゝあるは製造家として眞に欣快に耐へぬ處であります。

本鏡基の構造の大略を記せば次の通りであります。



## 1. 鏡 基

大型鏡柱、鏡脚より成り鏡柱を  $90^{\circ}$  迂屈曲し得られます。

## 2. 載 物 机

直徑 120m.m. にして圓周に  $360^{\circ}$  の目盛を刻み、 $1^{\circ}$  を読み得られ、机面には標本位置の基準のための目盛を有して居ます。

載物机の廻轉中心と光學的中心軸は嚴正に合致せしめてあり、廻轉の精確圓滑なる事は申す迄もありません。

## 3. 準 焦 装 置

鏡筒はラック、ビニオンに依る粗大準焦装置及び二重ローラー式微動装置により微細なる準焦を行ふ事が出来ます。

## 4. 鏡 筒

大型の單筒にして、パートランド、ルーペ (Bertrand Lupe) 檢光ニコール (Analyzer), コムペンセーター挿入孔 (Slit) を有し、鏡筒下端には求心式對物鏡嵌子 (Objective Changer) を附屬して居り、對物鏡個々の裝着による光學的中心の狂差を完全に補正しております。

## 5. パートランド、ルーペ (Bertrand Lupe)

レンズは中心を調節し得られ且廣範圍に亘り準焦操作が出来ますから常に鮮銳なる干渉圈を觀察する事が出来ます。

## 6. 檢光ニコール (Analyzer)

小把手の廻轉により  $90^{\circ}$  迄の廻轉を與へ得られ  $15^{\circ}$  每の目盛を有して居ります。必要に應じ Analyzer を簡単に視野外に除外する事が出来ます。

## 7. コムペニセーター (Compensator)

鏡筒下部に  $45^{\circ}$  の方向に差込む様挿入孔が設けてあり金屬枠入れの石膏板 (--次の赤色)。雲母板 (G波長) を附屬して居ります。

## 8. 起偏ニコール (Polarizer)

集光器を附屬し、上部集光レンズは鏡檢上必要に應じ簡単に光路外に除外し得られます、又起偏ニコール及び下部集光レンズは簡単に取外す事が出来ます。起偏ニコールの廻轉に對しては  $15^{\circ}$  每の目盛によつて角度を測る事が出来ます。

## 9. 反 射 鏡

大型の平面及凹面鏡にして任意の方向に傾斜自在であります。

## 10. 対 物 鏡

何れも中心調節環を具備し光學的中心を嚴正に調節してあります。

## 11. 接 眼 鏡

十字線又はミクロメーターを附屬してありますから調節式になつて居ります。

組 合 セ PC I		組 合 セ PC II	
鏡 基 YPC		鏡 基 YPC	
接 眼 鏡	6× (十字線入) 8× (ミクロメーター入) 10× (十字線入)	接 眼 鏡	6× (十字線入) 8× (ミクロメーター入) 10× (十字線入)
對 物 鏡	4× 10× 30×	對 物 鏡	4× 10× 30× 60×
倍 率	24× ~ 300×	倍 率	24× ~ 600×

# 八 洲 光 學 工 業 株 式 會 社

本社及工場 東京市杉並區方南町四七〇

中野工場 東京市中野區新山通三ノ一三

電話中野 (38) { 四八三〇番  
五七五〇番  
六八九七番  
六九一ニ番  
振替 東京八二九五四番

大阪營業所 大阪市北區堂島ビル四階

電話 代表北五八九〇番  
振替 大阪七九七七三番